

平成 30 年 4 月報酬改定後の実態調査報告（新設加算等算定状況に関する調査）

■施設サービス費の形態や在宅復帰・在宅療養支援等の指標（保険請求した型）

（全国との比較）

■超強化型■

全国10% (H30.07) 16% (H31.01)

熊本県会員施設

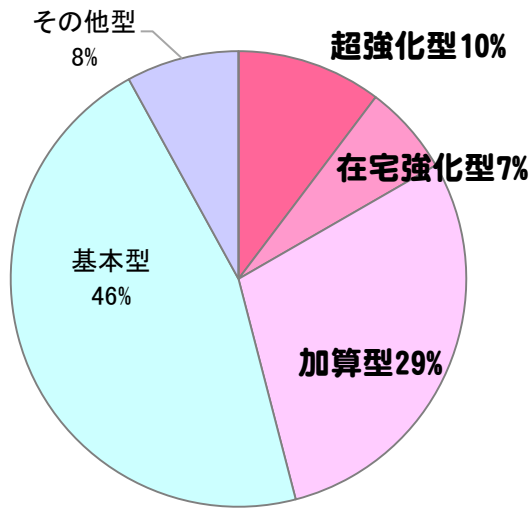
17% (H30.06) 22% (H30.12) 21% (H31.04)

■加算がとれる施設割合■

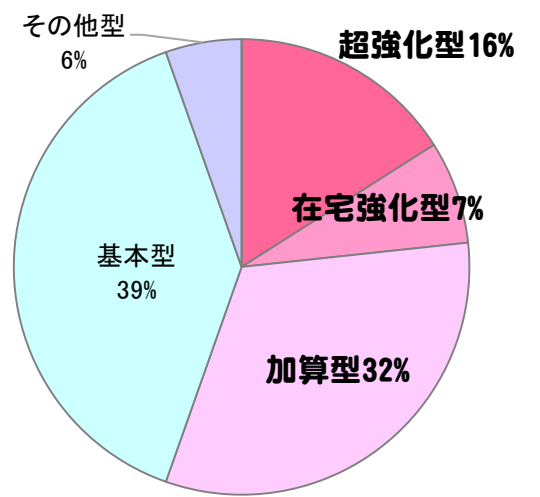
全国46% (H30.07) 55% (H31.01)

熊本県会員施設

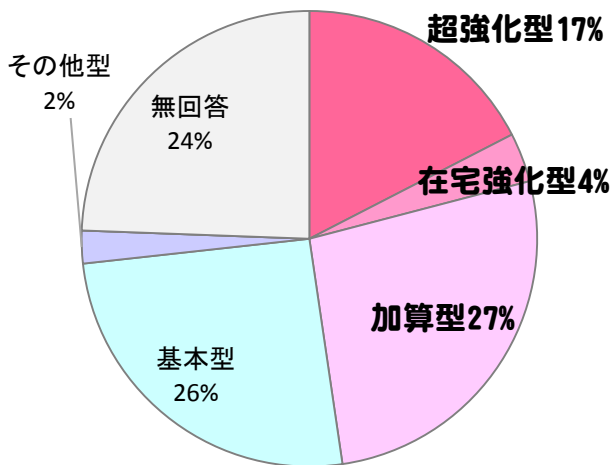
48% (H30.06) 57% (H30.12) 59% (H31.04)



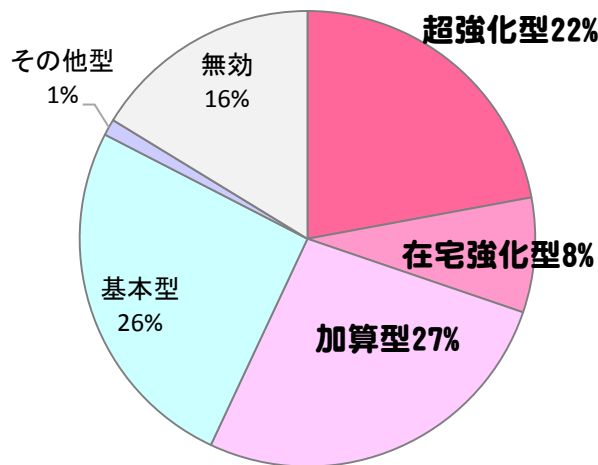
全 国 H30.07 審査分
（厚労省レセ請求データより）



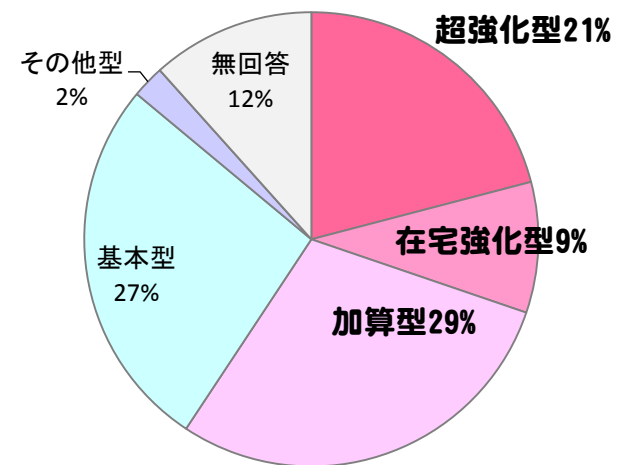
全 国 H31.01 審査分
（厚労省レセ請求データより）



熊本県会員施設 1 回目調査
H30.06 N=86 施設※療養型以外



熊本県会員施設 2 回目調査
H30.12 N=86 施設※療養型以外

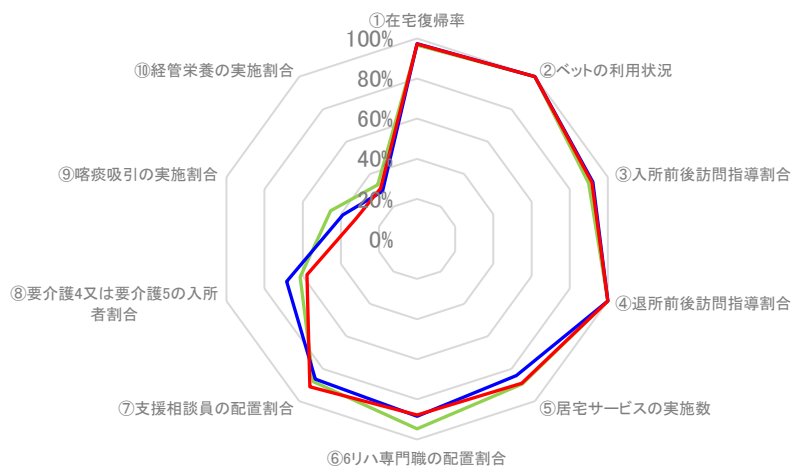


熊本県会員施設 3 回目調査
H31.04 N=86 施設※療養型以外

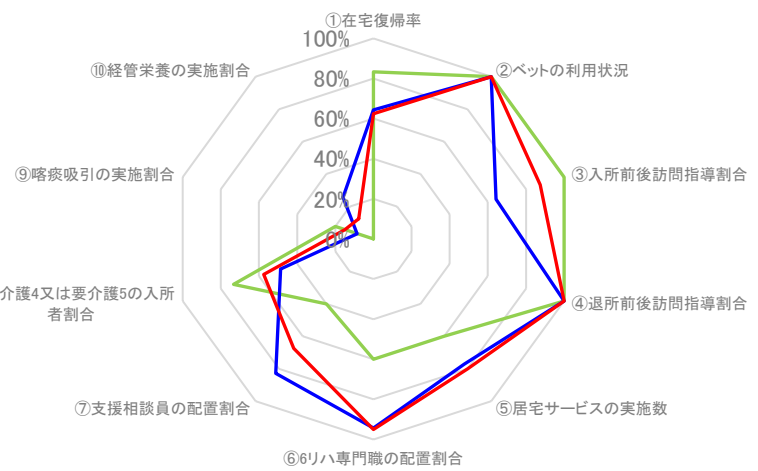
■在宅復帰・在宅療養支援等の指標 形態別各項目到達状況

- ・各項目保険請求型別に平均値を算出し最高値を 100%した場合の比率
- ・その他型施設は回答数が少ないため含まず

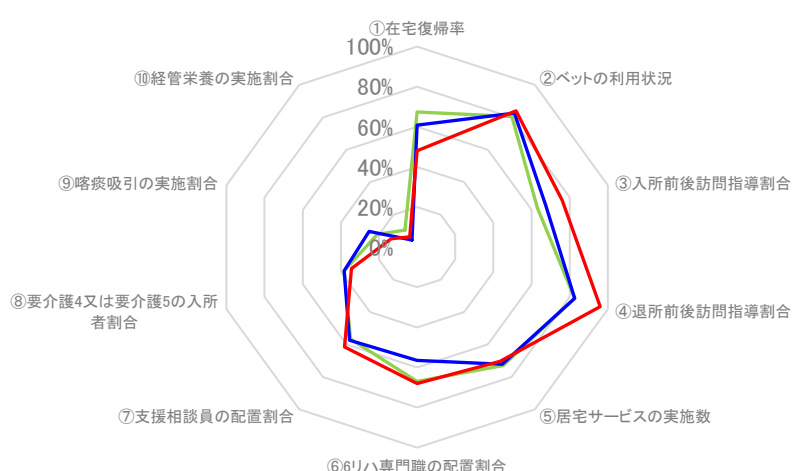
超強化型



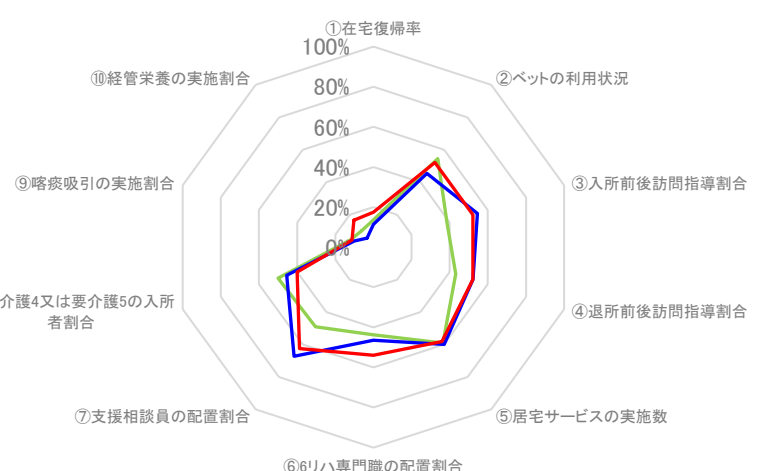
在宅強化型



加算型



基本型



1 回目 H30.06 2 回目 H30.12 3 回目 H31.04

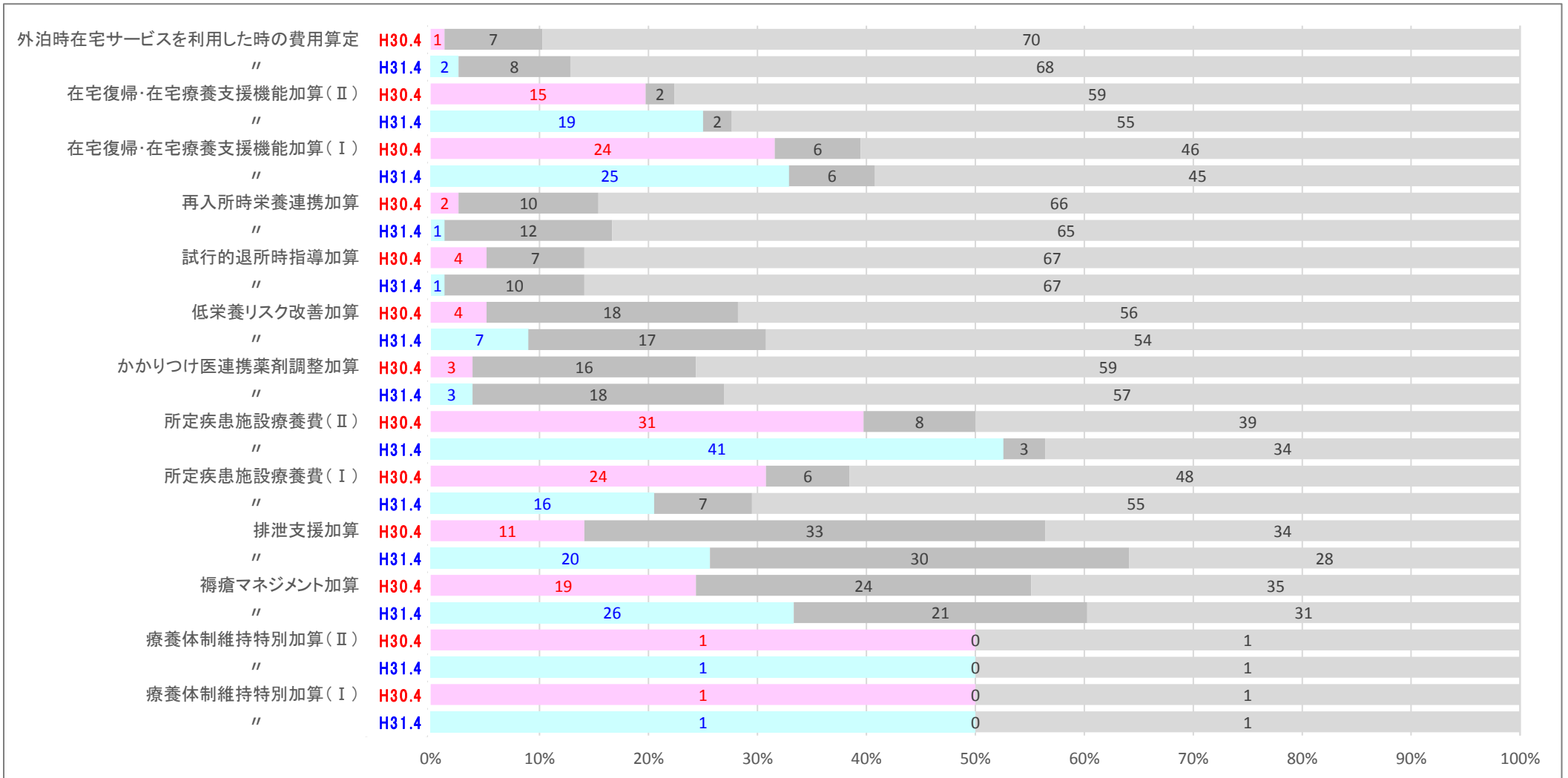
■指標合計数値で判断される形態と保険請求した形態が異なる場合の理由（何がネックとなったか）

（第3回目調査結果：H31.04）

指標合計判断	保険請求	理由
超強化型	在宅強化型	ポイントの変動がある為 在宅復帰率の数値が常に50%前後である為
	加算型	リハ職員数が足りず、週3回程度のリハビリテーションが実施できない為
在宅強化型	加算型	「充実したリハ」の項目が満たせなかった為（4件）
		点数が安定しない為（3件）
		5月より在宅強化型への変更を行う（1件）
加算型	基本型	点数が安定しない為（5件）
		在宅復帰率がネックとなっている（2件）
		地域貢献活動の要件をみたさず（1件）
		5月手続き中 次月より加算型となる予定（3件）
基本型	その他型	5月体制届の手続き中 次月より基本型できればと考えている

■入所の新設加算について、新設加算項目の算定状況

（第3回目調査結果：H30.04・H31.04の比較）



■ H30.04 ■ H31.04:算定した ■ :対象者はいるが算定していない ■ :対象者なし

■介護報酬の前年同月との比較調査（平均増減率）

	1回目調査 H30.06	2回目調査 H30.12	3回目調査 H31.04
入所	+0.53%	+2.44%	+4.20%
短期入所(介護予防含)	+15.31%	+15.06%	+18.44%
通所(介護予防含)	-2.13%	-2.20%	+5.55%
全体	+0.38%	+2.01%	+3.95%

-調査概要-

【調査対象】熊本県老人保健施設協会会員 90施設(調査時稼働施設)

【1回目】H30.06 調査日:H30.07.31 回答施設数:71施設(回答率:78.9%)

【2回目】H30.12 調査日:H31.01.31 回答施設数:75施設(回答率:83.3%)

【3回目】H31.04 調査日:R01.05.20 回答施設数:78施設(回答率:86.7%)

*ご報告の中で、1.2.3回目の調査比較をする項目もございますが各調査回答施設が必ずしも同一施設ではございません